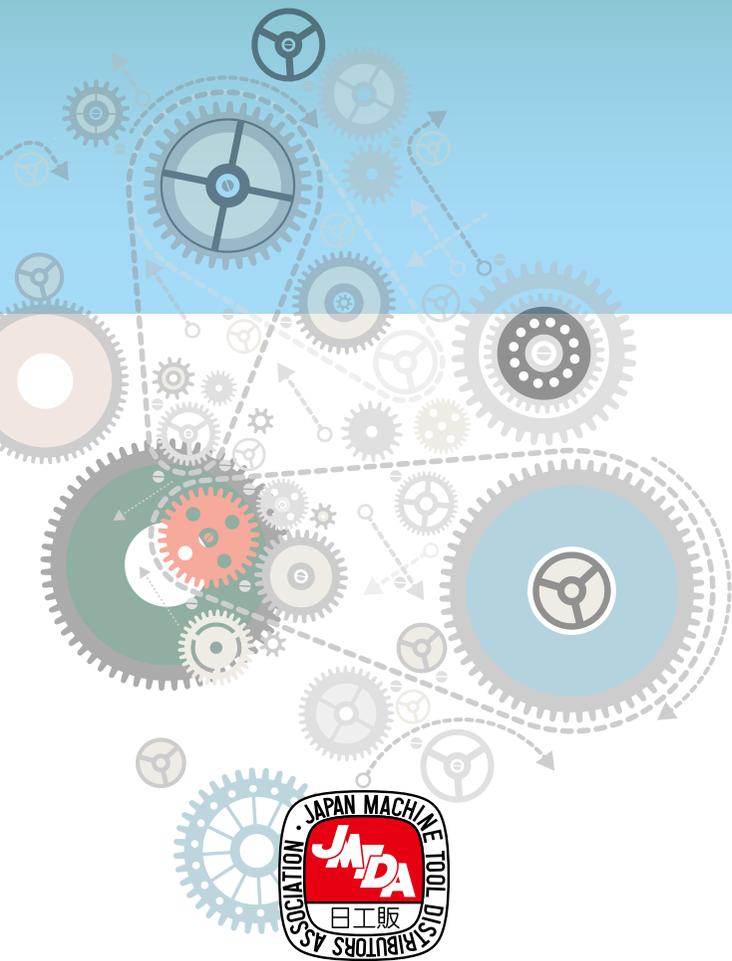


日工販ニュース

July 2020

第51回総会



日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

東京都港区芝 5-26-30(専売ビル 3F) 〒108-0014

TEL. 03-3454-7951

<http://www.nikkohan.or.jp>



日本工作機械販売協会
JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

立山連峰

Mazak
Your Partner for Innovation

誕生

製造プロセスを一新する
次世代
INTEGREX

DIGITAL TWIN

ACTUAL MACHINE



INTEGREX i-450H ST

同時5軸制御 複合加工機

INTEGREX i-H SERIES

機械本体正面に凹凸の少ないフラットなデザインを採用することで周辺機器との接近性・連携性が大幅に向上、省スペースな自動化システムを実現します。

CNC装置には最新の「MAZATROL SmoothAi」を採用。最新のソフトウェアを用いて工場にある工作機械からデータを取得し、オフィスPC上で段取り・分析を効率的に進めることができます。

スマートファクトリー化を実現する次世代CNC装置

MAZATROL **SMOOTH*Ai***

AI、デジタルツイン、自動化などの最先端デジタル技術を活用。サイクルタイムの短縮、仕上げ面の向上、加工精度の安定化、段取り時間の短縮、操作性の向上、自動化を推進します。



ヤマザキマザック株式会社 〒480-0197 愛知県丹羽郡大口町竹田1-131
0587-95-1131 (代表) www.mazak.jp

日本工作機械販売協会 会員会社一覧 (五十音順)

2020年7月 現在

正会員 (全80社)

東部地区 (36社)

- (株) 旭商工社
- (株) アルビテクノロジー
- (株) 伊藤忠マシンテクノス
- (株) イワイ機械
- (株) ウインテック
- (株) 大石機械
- (株) カナデン
- (株) カネコ・コーポレーション
- (株) 兼松 K G K
- (株) 京和二機
- (株) 共和工業
- (株) 群馬工業
- (株) 国興機械
- (株) 小林機械
- (株) 佐藤商事
- (株) 三機商会
- (株) 三洋マシン
- (株) サンワ産業
- (株) シマモト技研
- (株) 住友商事マシネックス
- (株) セイロジャパン
- (株) 誠和エンジニアリング
- (株) 双日マシナリー
- (株) 高橋機械
- (株) 帝通エンジニアリング
- (株) テヅカタ
- (株) トミニ
- (株) 豊通マシナリー
- (株) N a i T O
- (株) 日鋼 Y P K 商事
- (株) 丸紅テクノシステム
- (株) 三井物産マシンテック
- (株) 三菱商事テクノス
- (株) ヤマモリ
- (株) ユアサ商事
- (株) 米沢工業

中部地区 (22社)

- (株) 石原商事
- (株) 井高
- (株) 岡谷機販
- (株) ト一機械
- (株) 釜屋
- (株) 岐阜機械商事
- (株) 信商事
- (株) 甲栄商事
- (株) 三三
- (株) サンコ一商事
- (株) 三立興産
- (株) 下野機械
- (株) 大誠
- (株) 大和商
- (株) 大陽
- (株) 東陽
- (株) 日本精機商

- 浜松貿易 (株)
- (株) 不二機械
- (株) 山下機械
- (株) U - M A C H I N E
- (株) ワシノ商事

西部地区 (22社)

- 赤澤機械 (株)
- (株) 伊吹産業
- (株) 植田機械
- (株) 関西機械
- (株) 京華産業
- (株) 合田商事
- (株) 五誠機械産業
- (株) 桜井機械
- (株) ジーネット
- (株) ダイイチテクノス
- (株) 大幸産業
- (株) 立花エレテック
- (株) タナカ善
- (株) 西川産業
- (株) 日工機材
- (株) ニッツマシナリー
- (株) 日本産商
- (株) マックマシナリー
- (株) マルカ
- (株) 宮脇機械プラント
- (株) 山善
- (株) ユーエイ

賛助会員 (全80社)

製造業 (70社)

- (株) アイダエンジニアリング
- (株) アマダマシナリー
- (株) 育良精機
- (株) エグロ
- (株) エヌティーツール
- (株) MSTコーポレーション
- (同) L N S ジャパン
- (株) エンシュウ
- (株) オーエスジー
- (株) オーエム製作所
- (株) オークマ
- (株) O K K
- (株) 岡本工作機械製作所
- (株) 神崎高級工機製作所
- (株) 北川鉄工
- (株) キタムラ機械
- (株) 北村製作所
- (株) キャドマック
- (株) キヤムタス
- (株) 倉敷機械
- (株) 黒田精工
- (株) 三愛エコシステム
- (株) サンドビック
- (株) 三宝精機工業
- (株) C & G システムズ

- (株) ジェイテクト
- (株) シギヤ精機製作所
- (株) シチズンマシナリー
- (株) 芝浦機械
- (株) シーメンズ
- (株) 新日本工機
- (株) 住友電気工業
- (株) 大ソディック
- (株) 日金属工業
- (株) 太陽工業
- (株) 高松機械工業
- (株) 滝澤鉄工
- (株) ツガミ
- (株) 津田駒工業
- (株) D M G 森精機
- (株) 東京精機工作所
- (株) 東京精密
- (株) 東洋精機工業
- (株) ナガセインテグレックス
- (株) 中村留精密工業
- (株) 西田機械工作所
- (株) 日研工作所
- (株) 日進製作所
- (株) ハイデンハイン
- (株) 初田製作所
- (株) 濱井産業
- (株) 浜名エンジニアリング
- (株) BIG DAISHOWA
- (株) ファナック
- (株) F U J I
- (株) ブラザー工業
- (株) 豊和工業
- (株) 牧野フライス精機
- (株) 牧野フライス製作所
- (株) 松浦機械製作所
- (株) 三井精機工業
- (株) ミットヨ
- (株) 三菱重工工作機械
- (株) 三菱電機
- (株) 三菱マテリアル
- (株) メルダシステムエンジニアリング
- (株) M O L D I N O
- (株) 安田工業
- (株) ヤマザキマザック
- (株) 吉川鐵工

リース業 (10社)

- (株) 共友リース
- (株) 近畿総合リース
- (株) 十六リース
- (株) 首都圏リース
- (株) 昭和三井リース
- (株) J A 三井リース
- (株) 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス
- (株) 三井住友ファイナンス&リース
- (株) 三菱電機クレジット
- (株) 三菱UFJリース



巻頭言	「コロナがもたらしたもの」	日工販会長 依田 智樹	2
第51回総会	「議事録」		5
事務局だより	「日工販SE 事始め」		6
話題の技術	「『GL4Pi ポリゴン研削パッケージ』のご紹介」		
		(株)ジェイテクト 福田 英二	9
リレー随筆		ユアサ商事(株) 宗田 諭	12
工作機械と私		釜屋(株) 堀野 雅之	13
ひとくち豆知識	「バーフィード技術の進化」	(合)LNSジャパン Damien Wenish	14
スポーツ名場面		三洋マシン(株) 桑島 照生	16
議事録	「理事会」		17
私の初〇〇	「初めての中国ローカル企業視察」	大石機械(株) 小原 道広	18
統計資料	「FA流通動態調査1・2」「マシニングセンタ・NC旋盤動向」		19
	「工作機械主要統計I」		
私の健康法		(株)テツカ 阿部 浩	23
私の読書評	「FACT FULNESS」	三菱UFJリース(株) 三島 啓史	24
私の好きなお店		(株)三機商会 坪山 達也	25
海外だより		PT. MC Technos Indonesia 井田 圭紀	26
SE教育	「合格者」		27

コロナがもたらしたもの ～コロナ後の世界を考える～



日工販会長

依田 智樹

(三菱商事テクノス(株) 代表取締役社長)

今年も早くも折り返し点を過ぎました。例年ですと6月初めに日工販の通常総会並びに懇親パーティが開催され、この日工販ニュース7月号にはその場での挨拶内容を掲載するのですが、今年はコロナの影響で残念ながら集会は取り止めとなり、総会は書類による審議となりましたので、ここでは「コロナがもたらしたもの」との表題で掲載させていただきます。

本当にこの半年、特に3月後半以降は例年とは全く異なるものでした。

昨年を振り返れば自然災害、米・中貿易戦争、ラグビーワールドカップ・・・そして今年はいよいよ東京オリンピックの年、というお話を年初にしたのがついこの間の様な気がします。令和2年はゴーン元日産会長の海外逃亡、米・イラン間のミサイル応酬というショッキングな事象から始まった一方で、経済面では米中貿易も第1弾合意に達し、さあこれから景気も徐々に上向いてくる、との期待がありましたが、コロナウイルス感染拡大と共に世界は混迷し、東京オリンピックも延期、大恐慌以来の世界同時不況に見舞われました。

現在世界中で既に感染者1,000万人、死者50万人を超え、日本でもそれぞれ1.8万人、970人を超えており、米国や南米、インド、ロシア等の新興国においては感染が更に拡大し続けています。

リーマンショックは金融システムの崩壊でしたが、コロナ危機はモノとヒトの移動を制限し、それが経済活動を著しく停滞させ、ボディーブローとなりました。

皆様も顧客との対面での打合せや出張・立会・指導員派遣等が出来ない為、リモート勤務やオンライン会議等により種々工夫され、企業活動の維持に腐心されたものと拝察します。

今年のキーワードが「ワンチーム」や「命を守る行動を」であったとしたら、今年は(まだ半分しか終わっていませんが)「オーバーシュート」、「ロックダウン」、「ステイホーム」、「ソーシャルディスタンス」、「クラスター」、「ニューノーマル」(何故か全て英語です)等、コロナ関連一色になりそうです。この約4か月間、色々な事がありましたが、コロナがもたらしたものは何か、これからの世の中はどうなるのか、について考えてみました。

まず、これまでの他の災害の場合は時の経過が物理的・心理的な影響をある程度癒してくれ生活も元の姿に戻る面がありましたが、コロナは完全に収束しない限り(ワクチンが開発されない限り難しいと言われています)人々の心に不安が残り、考え方や行動様式を全く変えてしまうという点で異なります。

例えば、リモート勤務の普及は、「これまで会社に行くことが仕事」、「長時間の会議、夜の会食、週末のゴルフという密な行動は良い事」、「会議は皆が部屋に集まらなければ出来ない」、「決済は紙とハンコが無ければ出来ない」、等々の既成概念を見事に壊してくれました。それは単にインフラやデジタルスキルが整備されるという点だけではなく、今まで気付かなかったムダを排除し、生産性や効率性を重視する目が養われ、本当に価値のあるものだけが評価される時代になって行く事を意味します。

一方でオンラインでの会議や飲み会によって、実際に人と会って話をする事の大切さや対面で会食する事の価値が再認識されました。その結果、それぞれの価値を改めて見直し、ムダを徹底的に省き必要な時に必要な形でデジタルとリアルを使い分ける、というメリハリの効いた考え方や行動が今後進むのではないのでしょうか。これは我々商社の営業マンとしてはお客様にとって本当に価値のある良い提案を持って訪問する必要性が強まる訳で、ある意味試練です。仕事のやり方だけでなく生活様式も含め世の中がそのように変わって行くのだと思います。

世界の政治や経済はどう変わるのでしょうか?

グローバリズムは後退するでしょう。今回のパンデミック対応として各国が国境を閉ざしロックダウンの様な強制措置を実施した様に、結局自国は自分で守るしかない、という考え方に変わりました。経済の世界でもグローバリズムの恩恵を受けて成長した中国への米国の警戒感は頂点に達しており、資本移動の自由化、知財権、補助金といった問題が両国間で合意に至る事はありえず溝は益々深まりそうです。中国と手を組んで利益を上げて来たGAFAsの様なグローバル企業もダメージを受ける事になるでしょう。EUもBrexitや南北格差の問題で域内統制を失いつつあります。WTOやWHOといった国際機関も参加国の足並みが乱れ指導力を失っている様に見えます。

またファーウェイに対する米国の対応でもわかる通り、米・中間覇権争いにより世界のデカップリングが加速し、世界各国・機関・企業は米・中のどちらを選ぶのかの判断を迫られ

る様になるでしょう。

中国が掲げている「中国製造 2025」も、半導体の最先端プロセスは台湾と韓国でしか製造出来ず、そのプロセスに対応出来る基礎材料やシリコンウェハ―は日本が供給をほぼ独占している状況下、米国の圧力によって実現がかなり難しくなってくるかもしれません。

そういう状況変化の下で日本が為すべきことは何でしょうか？

政治的・経済的には世界のデカップリングが進む中で新たな国際秩序の均衡点を探っていく事になるでしょうが、極めて難しい選択となります。

今回コロナ危機で国境が閉められたことによりサプライチェーンが分断され、自動車を始めとする日本の産業が大いに影響を受けましたのでその再構築が必要です。

また、戦略物資の国内生産への回帰や 5G 時代を迎え情報インフラの整備の必要性も認識されました。

更に今回の様な危機に対応する為の法制度の整備も進めなければなりません。今回日本は法制度上出来ないとして強制的ロックダウンの措置はとりませんでした。今後は全体の安全を守る為に個人の権利を一部統制する必要性についての議論が求められるでしょう。

我々工作機械業界を取り巻く環境も大変厳しくなっています。3月の受注額は774億円、4月は561億円、5月は512億円という低い数字になりました。コロナ感染拡大がある程度収まって来た6月からは徐々に営業活動も開始出来るようになり、一部には堅調な業種もありますが、全体的には企業の業績は悪化しています。4～6月が底で7月からは景気の回復を期待していますが、ある程度長期戦を覚悟して構えなければならないかもしれません。しかしながらものづくりの世界においても社会の変容に関わるデジタル化、省人化、生産性向上や業界再編・拠点統廃合に関連するビジネスチャンスはむしろコロナ危機によって増えて来るのではないかと思います。

今年度は初っ端から大変な事態となりましたが、コロナ禍を嘆くのではなく、コロナを契機に会社を、産業を、そして社会を変えて行くという気概でやって行きましょう。

ところで、今年日は日工販創立 50 周年です。

これまでバブル崩壊、アジア通貨危機、リーマンショック、そして今回のコロナ危機、等々幾多の危機に直面して来ましたが、会員各社の皆様のご支援のお陰で協会活動を継続しこの記念すべき年を迎える事が出来ました。この 50 周年は、「あのコロナで大変だった年」としてずっと記憶されると思います。

これからも日工販一体となって力を合わせ、ものづくりの信頼出来るパートナーとして業界の発展の為に貢献して行きたいと考えておりますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社の社員とご家族の皆様のご安全とご健勝をお祈りすると共に、我々がまた元気で集う事が出来る日が一日も早く来ることを待ち望んでおります。

議事録

日時：6月15日(月) ※事務局結果集約日
 審議形態：書面決議 (議案文書一式郵送)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会員を一堂に会して行う会議体での総会実施を見送り、議案書の郵送～議決結果の集約による書面決議により実施。



【実施要領】

1. 議案送付対象会員および郵送文書

令和2年6月1日現在、日工販に登録している正会員 80 社に対し、以下文書を郵送の上審議を依頼。

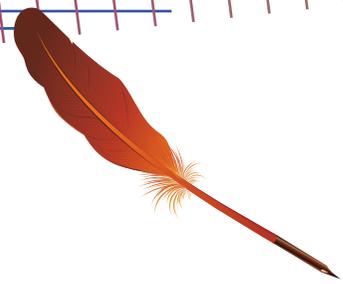
- ・ 第 51 回通常総会議案書
- ・ 議決権投票用紙
- ・ 投票用紙返信用封筒

審議～決議事項

- 第 1 号議案 令和元年度事業報告並びに決算案承認の件
- 第 2 号議案 令和 2 年度事業計画案並びに予算案承認の件

決議結果

議決権投票用紙を集約し、以下の結果を以って上梓した議案全てが承認された。
 議決権対象：80 名。うち議決権行使者は 79 名、有効な投票数 77 名 (全て承認)。



事務局だより

日工販SE教育 事始め

【SE 資格取得講座】

1991年11月、日工販SE教育「集合教育」(後に「中級講座」、さらに現在の「SE講座」に改称)が開講されました。

工作機械の技術進歩に対応するべく、基本的な商品知識の熟知、生産財販売の実務知識獲得を目指し、また延いてはセールスマンとしての質の向上や販売モラル向上に資するためにと設けられ、初となるこの年212名の受講となりました。

内訳は以下の通りです。

◇営業実務経験7年以上52名、営業実務経験7年未満160名

また、会員区分別にみると

◇正会員178名、賛助会員(メーカー)28名、賛助会員(リース)6名

となっています。

なお、1992年度までは受講は会員のみとされていましたが、1993年度以降は関連団体のご協力の下、会員以外にも広く応募を募ることとなりました。

第一期生は集合教育受講後所定の通信教育を履修し、翌年までの1年間に204名が日工販SE(合格者)として認定されました。

第一期から昨年までの29年間、2019年12月末までに日工販がSE(セールスエンジニア)として認定した者は次の表に示すとおり3,530名(SE資格取得講座受講者は4,167名)を数え、自らのスキルアップを目指してこれまでに1,709名の方々が資格更新を終えています。

受講実績(過去29年間)

年度	1991～2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	累計
基礎講座	1,843	102	120	120	120	120	120	2,545
SE講座	3,350	119	133	132	127	139	167	4,167
更新研修	1,264	65	82	70	84	59	85	1,709
永世SE	545	33	36	43	94	63	95	909
計	7,002	319	371	365	425	381	467	9,330

※【日工販SE】有資格者は3,530名(2019年12月末現在)

日工販「SE(資格取得)講座」は、日工販会員はもちろんのこと、延いては工作機械業界の発展のために、今後とも継続的な人材育成事業として盛り立てていきたいと考えています。

教育委員会を中心に毎年講座内容の再確認を行い、時代に即した技術や話題も取り入れながら、皆様のお役に立てる講座としていきます。

【基礎講座】

基礎講座の初回開講は、SE資格取得講座に遅れること約1年、1993年4月から5月にかけて2回に亘って開講されました。

なお、日工販ニュース1993年6月号掲載記事から「日本工業大学工業技術博物館の講義室を借りられたことにより、講義のほか世界でも稀な工作機械、博物館の展示機の見学や実習を織り込んで、従来の集合教育にはなかった新味を加えることができました」と、この基礎講座を開講したことの意義深さが述べられていることに加え、「基礎講座はSE講座とは違ってSE認定と直結するわけではありませんが、学習効果を高めるため講義終了後に毎日20問のテストを実施しています。テスト結果は極めて優良で4月度平均点は86.9点、5月度は89.1点となり、ハイレベルで受講生のまじめな受講態度がうかがわれます」と、その効果が掲載され総括されています。

【更新研修】

1992年12月～1993年6月までにSE資格を取得した方を対象に、1996年12月～1997年1月にかけて東京・大阪・名古屋の3会場に分けて開講されました。

当時の資格更新の条件は、必修科目の専門講座(全1日)を受講+選択科目としてSE講座の一部を受講すること・・・となっていました。

分かりやすい話題の技術

Inteligible Recent Technics ★

No.168

1台の研削盤で円筒と非真円形状の研削加工を実現したCNC円筒研削盤

『GL4Pi ポリゴン研削パッケージ』のご紹介

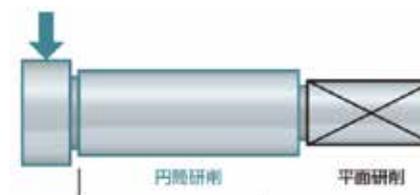


(株)ジェイテクト
工作機械・メカトロ事業本部
研削システム技術部
福田 英二

近年の日本のモノづくりは、労働力の減少や熟練技能者の減少といった課題に直面しており、“誰でも簡単に高度なモノづくりができる機械”が必要とされています。

円筒研削盤で加工する工作物の多くは円筒部が大部分を占め、一部に非真円形状部分が存在します。

現状では、これら一部の非真円部を加工するために他の設備を使用して加工するなど、専用設備が必要となり、段取り時間も増加することになります(図1)。ここでは、汎用円筒研削盤のベストセラー機GE4iに高精度かつフレキシブル性を進化させ、非真円形状も簡単に研削する設備として、上記のような工作物の工程集約を可能とし、バリエーションも心間500mm~2,000mmまで準備した「GL4Pi ポリゴン研削パッケージ」について紹介します(図2)。



GL4i ポリゴン研削パッケージ

図1



図2

SE教育制度はもともと、資格認定を受けた5年後に更新を行うことを制度発足当初からの基本方針としていました。これは、日々販売の現場での実務経験を積み重ねてはいるものの、産業構造の変化や技術の進展が予想以上に早く、以前修得した知識・ノウハウが現実には合わないケースも場合によっては出て来ると想定していたからに他なりません。

「SE資格を有効なものとしていくためには、資格取得者が時代に適した販売能力や知識を常に身につける必要がある」と述べています。

教育事業局としても、更新研修のあり方や開講講座の題材検討など、前述の趣旨を踏まえた対応を図っていかねばならないと、思いを新たにしています。

『日工販 SE』集合教育始まる

待望の「日工販SE」集合教育第一期・第1回目が、名古屋愛知県産業貿易館において、去る11月7日開講され、引き続き、第2回目は、松浦機械東京フォーラムセンターにて、11月14日より3日間開催されました。

第1回目の開講に先立ち、後藤正男日工販会長より、開講の挨拶があり、予定通りのカリキュラム、時間割りに従って講義が始まりました。



側としては、先ずは胸をなでおろしたと云うのが実感です。

特に、名古屋会場では、9時15分集合時刻に対し、8時30分には会場に来ていた受講生もいましたし、全員無遅刻、無欠席であり、その熱心さには、主催者側は勿論のことですが、講師の先生方も、受講生の熱意に応えるためにも、より充実した教育の実施をしなければ、との思いを新たにされたことと思います。

講義内容や、運営全般にわたっても、毎回受講生からの意見、感想等の聴取を行い、今後の参考にする様にしていますので、第1期集合教育終了時点で、教育委員会にも報告し検討すると共に、理事会にも報告し、会員のご意見も反映させながら、今後の運営に当たりたいと思います。

皆様の絶大なご支援をお願いすると共に、



今後の運営に当たってのご意見、ご助言をお待ちしております。

開講挨拶 日本工作機械販売協会 会長 後藤 正男

「日工販SE」教育制度の集合教育第1回目の開講にあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

本日、ここに、こうして所定の40数名の方々が、各社の推薦により、この講座に参加されたご熱意に対し敬意を表すると共に、主催者側としまして、皆様のご参加に厚くお礼申し上げます。

申すまでもなく、現在の技術革新の時代において、工作機械の進歩は目ざましいものがあります。販売側にとり、それに対応し、商品知識の基本となる部分を先ず熟知しなければなりません。又、生産財の販売にあたっては、業界の歴史・現状はもとより、販売にか、わる実務知識も知っておかねばなりません。

日工販としましては、この様な教育を通して、会員各社のセールスマンの皆様の質の向上をはかると共に、ひいては、之が販売モラルの向上の一助ともなれば願うものであります。

幸い、本日より3日間の集合教育では、業界内部にも通じ、且つ、学識経験豊かな先生方に講義をお願いすることが出来ました。3日間の講義では必ずしも十分な時間とは申せませんが、どうか皆さん、この際、しっかり基本を身につけて戴きたいと思っております。

皆様の多大な成果を期待し、簡単乍ら、開講の挨拶と致します。

高精度かつフレキシブル性を進化させた「GL4i ポリゴン研削パッケージ」

(1) 高精度非真円形状創成

本機では、円筒研削とは異なり非真円形状を工作主軸（C軸）と砥石台送り（X軸）の同時2軸制御により創成研削を行うため、工作物と砥石の接触点が工作物中心-砥石中心上から変化します。（図3）

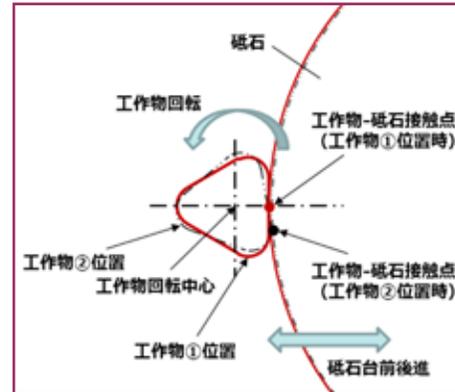


図3

非真円形状を高精度に加工するには、この接触点に正確に割り出しできる工作主軸（C軸）・砥石台送り（X軸）が必要となります。

そこで、本機では下記対応を実施することにより、それを実現しました。

① 高精度位置決め主軸台

高分解能エンコーダを工作軸心上に配置し、ねじれ等の影響なくフィードバック制御することにより、工作物の回転位置を高精度に位置決め割り出しが可能となりました。

② 高精度位置決め砥石台送り

GL4iの素の性能としてベッド形状やリブの配置に工夫を凝らして熱ひずみを低減しています。さらに、アインレーションカバーを採用してクーラント熱がベッドに伝わるのを抑制し、熱変位を低減した上で砥石台の放熱特性を高めると共に軽量化を実施しています。砥石台送りスライド抵抗の削減・送り剛性を高めることにより砥石台の追従性を向上し、リニアスケールフィードバック制御による高精度な砥石台位置決めを実現しました。

③ 接触式センサによる砥石径管理

三角形や四角形などの直線で形成されたポリゴン形状では、図4に示すように、砥石半径Rと工作物形状より接触点高さHが刻々と変わります。その時の砥石位置は工作物回転角度と砥石径および工作物外形形状を元に割り出されます。機械側で認識している砥石径と実際の砥石径に誤差があると、接触点が理想と異なった点となり、製品形状誤差が生じます。（直線形状の場合、砥石径誤差と

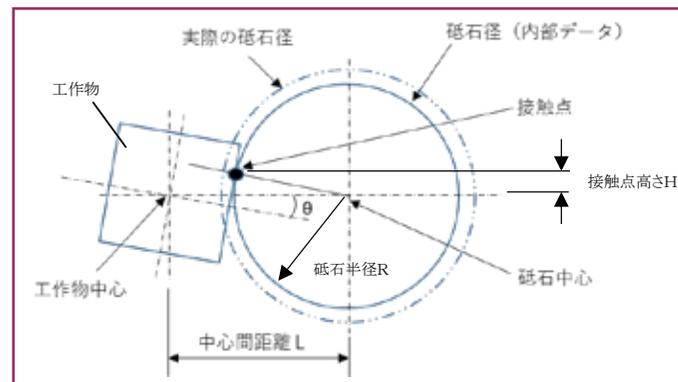


図4

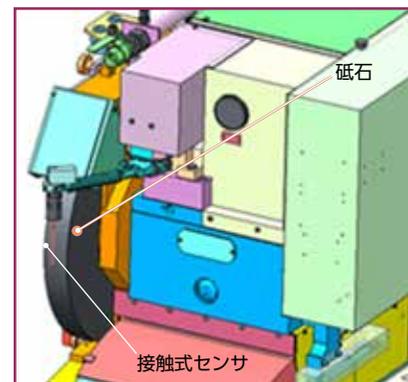


図5

同等の形状誤差が生じます。）

本機では接触式センサを搭載し、独自の演算処理を施して砥石径を正確に管理し、形状誤差がないようにしています（図5）。

(2) 簡単操作&フレキシブル

① 非真円形状の簡単入力

三角形や四角形など多くのポリゴン形状（図6）に対し、本機では操作盤に内製ソフトウェアでこれらポリゴン形状のデータを画面上に表示された図にしたがって基本寸法を入力するだけで、データを短時間で作成可能です（図7）。これら作成したデータは、CNC内部に最大500種類・工作物種類としては64種類の登録が可能であり、加工頻度の少ない工作物も、一度作成したデータを再利用して加工することが可能となっています。

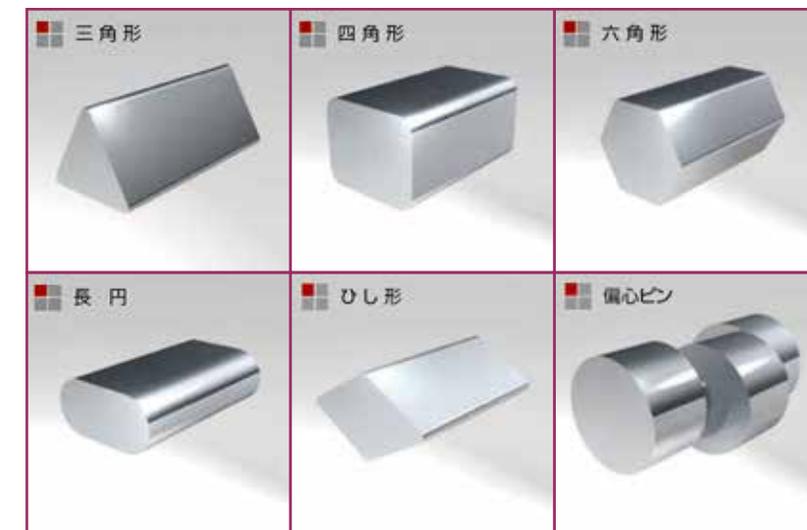


図6



図7



リレー随筆



ユアサ商事(株)
横浜工業機械部 静岡駐在
宗田 諭

(株)滝澤鉄工所の千田様よりご紹介を頂きました、ユアサ商事(株)横浜工業機械部静岡駐在の宗田(そうだ)と申します。工作機械の販売に従事しており、今年で6年目となりました。今回はコロナ禍において営業活動の取り組み方が急速に変化するなかで、改めて私たちの役割について自身の考えを述べたいと思います。

今後はコロナ流行前と比較して営業活動の方法が多様化されると思います。多様化していくなかでより重要性の増す役割が2つあると思います。

1つ目は商談時の製品提案や企画提案です。執筆時点(6月2日)では全国で非常事態宣言が解除されたものの、取引先様のなかには引き続き訪問自粛や在宅勤務、交代勤務、工場の休業による生産調整や稼働停止状態を余儀なくされているところがあります。また県外への移動に対しても思うように動けないという営業マンの声も聞こえてきます。私たちの業界に関連するJIMTOFやインターモールド、各メーカー様の自社展示会の多くも中止や延期になりました。WEB展示会やZOOMなどのWEB会議ツールを利用した勉強会・定例打合せなどを行い、情報の発信や収集をする動きが広がってきつつあるものの取引先様の中においてもWEB活用には差がでており、情報の格差が広がる懸念があります。

このような状況下において私たちが取引先様をつなぐ様々な施策を講じていく必要があります。具体的には私たちが仕入先様や販売店様と協力をしてWEBを活用した勉強会やリモート工場見学を行うことです。遠方との接続も容易という利点を最大限に活かし、多人数で同一の情報共有が可能となるのではないのでしょうか。また私自身も今後テーマになるAIやIoT、様々な自動化に関する製品知識や素養を身に着けようと思います。

2つ目は仕入先様・販売先様の間にたち円滑に商売を進めるといことです。コロナ禍においてはなかなか取引先様同士が顔を合わせられず、電話やメールでのやりとりでシフトせざるを得なくなっていました。もちろん上述のWEB活用も利用されていますが、ネットの接続環境により途中で音声・映像が途切れてしまう場合や、言葉の間合い・相手の表情や雰囲気から感情を読み取りづらいといったデメリットもあります。今だからこそしっかりと各担当者様と対話を心がける必要があると思います。時に雑談を通じて距離を縮め打ち解けておくことで、それまで眠っていた思いがけないチャンスやニーズに遭遇するかもしれません。コロナ流行以前は当たり前のように毎日営業訪問をし、定期打ち合わせや懇親食事会、ゴルフコンペといった活動を通して公私ともに担当者との親交を深めていました。顔を合わせ時間の共有をすることで得られる連帯感、何事にも代えがたい財産だと思えます。

ネガティブな話題が多いですが、アフターコロナを見据えながら卸商社としての機能強化と、自分自身の価値向上を念頭に日々頑張っていきたいと思えます。

次号は(株)ソディック野崎様にお願い致します。人柄が良く、誰からも好かれる素敵な営業マンです。

..... 工作機械と私



釜屋(株)
機械部営業第2グループ
課長
堀野 雅之

2001年1月に釜屋(株)に入社し、多くの方に支えられ19年が経過しました。

我が社の採用試験の最終面接では、趣味について質問され、私は何も考えず『パチンコと麻雀とお酒が趣味です。』と答え、社長を唖然とさせてしまい、『君は大器晩成型だね・・・』とあきれて言われたのを昨日の事のように覚えています。そんな私を採用してくれた釜屋(株)はとても素晴らしい会社だと今でも感じております。2001年と言えば、小泉政権が発足し聖域なき構造改革が行われ、米国では犠牲者3,000人以上を出す史上最悪の同時多発テロが発生、そんな年に私は入社を致しました。

入社してすぐの頃は諸先輩方に同行をして頂き、毎日おいしいお昼ご飯をご馳走になりとても楽しく過ごさせて頂いておりましたが、工作機械というものを全く知らなかったのも、お客様との打ち合わせとなると、お客様と上司との間で飛び交う専門用語の応酬がまるで異国の国の言葉のように思えて、誰か通訳をしてくれないかと思う毎日でした。

そんな期間も半年程度で終わりを迎え、一人での営業活動がスタートしました。はじめは工具の配達や簡単な注文をこなすのみでしたが、それだけでは一日が終わってくれず時間を持てあます日々でした。何とかしなければいけないと思い電話でのアポイントを試みるも、何を話して良いのかもわからず、うまくアポイントを取ることも出来ない状況が続いていました。そんなある時、怖いと有名なお客様に意を決して電話をしました。『世間話だけでも良いのでお話をさせて下さい!』と懇願したら『こんなくそ忙しいときに世間話だけってお前は本当に営業マンか!』と怒鳴られたのですが、何が面白かったのか笑って訪問を許して頂きました。後々そのお客様にその時のお話を伺うと、震えた声で必死にお願いするのがかわいそうに思えたのと同時に、その必死さが面白く感じたのだそうです。そのお客様からは、「今後お前は俺が育ててやるから、担当は一生変わったらダメだぞ!」と言われ、その後しばらくしてから新しい機械の引き合いを頂き、無事受注に繋げる事が出来ました。とても厳しいお客様でしたが、色々と指導いただき、自分の事を徐々に信頼していただいている事をとても嬉しく感じ、そこからどんどん前向きにチャレンジ出来る様になりました。

今考えるとあれこれ考えず、まずは行動を起こせた事がその時の結果に繋がったのだと思います。今もその時と同じように出来ていると言われると、机に座りあれでもないこれでもないと考え込んでしまい、中々思い切った行動が出来ていない自分がいます。

今回の『工作機械と私』に掲載する事がきっかけで、初心を思い出す事が出来、前向きな気持ちを思い出す事が出来ました。

現在、新型コロナウイルスで日本の経済は緊急事態という言葉では言い表せない程の大きな危機に直面しております。我が社においても多大な影響が考えられます。この苦境をどのようにすれば乗り越えられるのか、社員全員で考え、『上下一心』の精神で明るい未来を創造していきたいと考えております。

バーフィーダ技術の進化



合同会社LNSジャパン
グローバル・アカウント担当副社長
Damien Wenish

LNSは早くも1975年にはバーフィーダ技術の礎を築いていました

スイス国でフランの高騰、ウォーツの台頭、オイルショック等の複合要因下においてのスイス時計業界不況の間、LNSは簡易・乾式チューブ型のカウンターウェイトバーシステムに替わり、世界で初めて高速で長尺材のスムーズな回転を可能にする油圧サポート型バーフィーダを工作機械工業界に送り出しました。バーフィーダ内の材料ガイドにハイドロダイナミクスを応用する技術がこうして生まれ特許デザインを採用した LNS Hydrobar®が、当時世界のバーフィーダ界において最大の技術革新となりました。

バーフィーダ技術の歴史

機械式バーフィーダでは材料回転に伴い材料が大きく振動し加工精度に影響していましたがLNSは油圧サポート型バーフィーダを開発することで解決しました。

初期のバーフィーダは、その内部において旋盤主軸によってバー材が回転される単純な鋼管(ガイドチューブ)から構成されていました。ノイズと振動の発生によりオペレーターは回転数の低下を強いられ、また部品製造コストの明らかな上昇を招くにもかかわらず仕上げ加工の工程を加える事を余儀なくさせられていました。当時はカウンターウェイトが材料の押込み(送出し)に使用されていました。

良く知られている、振動が引き起こす負の要素は:

- ・ 仕上がり表面が粗くなる
- ・ ツーリングの短寿命化
- ・ 加工サイクル時間の増加
- ・ 部品仕上げコストの増加
- ・ 生産性の低下
- ・ マシンメンテナンス費用の増加



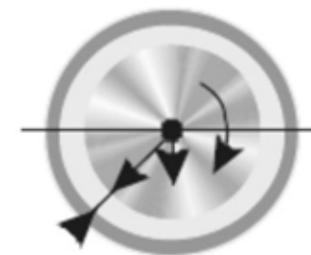
荒い表面仕上げ

ハイドロダイナミクス効果を持たせたLNSバーフィーダを使用することにより、これらの要因が大幅に改善、又は取り除かれました。

a) ハイドロダイナミクス(流体動力学)効果

バーガイドにおけるハイドロダイナミクスの利点:

- ・ ほこり、ちり等の汚れの影響を受けない
- ・ 機械的な摩耗が無い(ガイドチューブと非接触)
- ・ 優れた衝撃及び振動吸収性
- ・ 理想的で滑らかなバーガイド



ハイドロダイナミクス効果は、閉まったガイドチューブ内で回転する材料に発揮されます



主軸回転速度がゼロの場合、ハイドロダイナミクスサポートはゼロであり、バーはガイドチューブの底にあります。



主軸回転速度がおおよそ500~700rpm超でハイドロダイナミクス効果が発生します。ただし、バー径と形状に依存します。



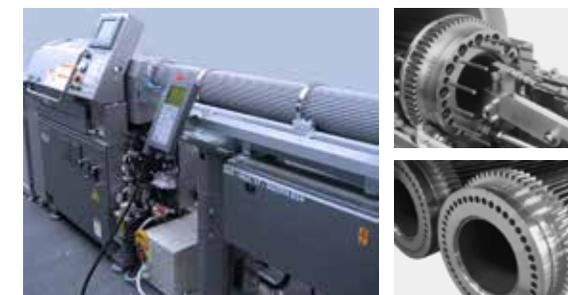
クリアランスが1mm以下の場合にハイドロスタティック効果が発生します。ただし、バー径と形状に依存します。

LNSは同時期に、1ヶ所へのオイル供給でバー材の送りと回転の双方をサポートする特殊なプッシャー給材システムを発表しました。特許を取得した回転ピストンの設計により、バー材の滑らかな送り、バー材と同じ速度での回転が可能となりました。オイルはガイドチューブの内側とバー材の外側との間に均等に配分されます。オイルがピストンを通して流れるとき、空気は押し出され、バー材はオイルに完全に包まれます。これによりバー材が非常に高速で回転することが可能となりました。

b) 安定した20,000rpm(高速回転)を確保するには

LNSの技術革新はそこで立ち止まりませんでした。非常に競争の激しい時計業界に於いては、小径用の高価で貴重な材料を使用し、より高い回転数が要求されます。LNSはここで LNS Hydrobar® Tryton を発表し、今日に於いても小径材料では他に比類の無いパフォーマンスを発揮しています。1980年代後半にはすでに完全密閉型チューブの中で1mmの小径材料を20,000rpmで回転させるという高い能力を既に展示しており、それは当時見た事が無い技術でした。

LNS Hydrobar® Trytonは、現在に至っても時計メーカーや医学分野向けに選ばれ幅広く採用されております。



LNS Hydrobar® Tryton +CNC (主軸20,000rpm)

感動したスポーツの名場面

三洋マシン(株) 代表取締役社長 桑島 照生

2020年6月19日(金) 東京ドーム セ・リーグ公式戦

読売ジャイアンツ vs 阪神タイガース 1回戦

開始 18時05分 ◇試合時間 2時間49分 ◇入場者 0人

“プロ野球、開幕致します!” 巨人原監督の言葉で始まりました。

人類が遭遇した最大の困難といわれる新型コロナウイルス禍の中、政府による感染拡大に伴う緊急事態宣言が全国で解除されたことを受け、2020年6月19日セ・パ両リーグで公式戦開幕…。

伝統の一戦、巨人は無観客で行われた阪神との開幕戦を逆転で制し、プロ野球史上初となる球団通算6000勝の大記録を達成!開幕投手、菅野が好投、緊張と不安の中、両チーム全選手が尊敬するパフォーマンスを披露してくれました。

感染症拡大に立ち向かい続ける医療・介護従事者への尊敬と敬意を兼ね、プロ野球再開への感謝の気持ちを込めて、「ありがとう!」の文字を配したブルーのリストバンドを着用し、歴史のバトン、感動の開幕戦となりました。

スポーツ界が止まりかけましたが、国民的スポーツであるプロ野球：NPBとJリーグは、医療専門家チームからの指導に準拠、関係者全員のPCR検査を徹底し、公式戦中の定期的な検査等、選手の健康・衛生、サポートするスタッフ、審判員等々の健康を十分考慮し、ガイドラインに沿って、安全に試合を実施することを取り決め、スポーツ史が再び動き出しました。

全てのスポーツは、国民の生活に密着し勇気と感動、生活と街の経済・文化と人々の心を繋いでくれます。

全国民に少しでも勇気を与えるべく開幕を目指すという強い意志を感じたプロ野球、たとえ無観客であっても、決してお金のためではなく、夢と希望、元気を持ってもらう為、スポーツという文化を築く日本プロ野球集団、感動したスポーツの名場面として記します。

我々、ものづくり産業で活躍するプロとして、日本工作機械販売協会をCOREに、絆のバトンを次世代に託す為ONE TEAMで頑張りましょう。

世界の医薬品技術革新を信じ、新型コロナ終息祈念。御自愛、御安全申し上げます。



議事録から

第286回 定例理事会

実施日:5月14日(木)

実施形態:書面決議

※当初、名古屋にて定例理事会開催の予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議体での開催を見送り、中島専務理事から各理事・監事宛メールに議案を添付して審議。

審議役員:全理事・監事(30名)

【付議事項】

◇総会付議議案の件

(1) 令和元年度事業報告(案)・令和元年度決算報告(案)

元年度決算について、会計士によりメールでの監査を受け、決算結果が全て適正かつ問題ないことが確認されたことを説明。

(2) 令和2年度予算(案)

一般会計・教育事業特別会計の予算案について説明。

◇総会のホテル開催中止及び総会付議議案審議について

緊急事態宣言の延長が決定されたことなども踏まえ、ホテルに一堂に会して審議いただく形態を取り止め、全会員に書面で書類を送付し意思確認を頂く形式にしたい旨を説明。

上記各議案とも、全員異議なく可決承認された。

【報告事項】

流通動態調査令和2年4月結果

令和元年活動実績

会社生活に於ける私の初〇〇



「初めての中国ローカル企業視察」

大石機械(株) 取締役 営業部部长

小原 道広

皆様はじめまして、大石機械(株)の小原と申します。2010年の夏に上海のプレス金型メーカーへ訪問させて頂きました。門形のマシニングセンタがずらりと並んでいる。その程度の前情報しかなく、想像していた会社とは全く違っており、カルチャーショックさえ受けました。

会社の概況として自動車の内外装の板金プレス金型設計製作からプレスによる量産加工、フルモールド加工、検具製作と幅広い仕事内容を手掛けています。設備もイタリア国産メーカーの門形5軸加工機3台(これは上海GMのリクエストにより導入アウターの仕上げ加工を行っている)、日本産5面加工機13台、中国国産門形加工機17台が設備されています。

こちらの工場には700人の従業員が働いており、前記の様に設計からスタンピング迄材料関係を除く全ての工程を自社で行っているそうです。外注先の状況を聞いてみると「外注は使っていない」との事、関わる仕事は全て自社でこなしていくそうです。

日本の金型メーカーも受注価格の低迷で苦しい状況が続いていると思いますが、中国から言わせるとまだまだ金額的に高いとのこと、しかし根本の土台が違う状況で金額勝負をする事は無理があると思われるのですが、これからもっとグローバル化が進む中で世界の競争とどの様にして、何を武器に日本は戦っていかねばならないか真剣に考え実行しなければならぬ時がきてしまっている事を痛感致しました。又、その後上海万博を見学させて頂きました。開園から2ヶ月程が過ぎようとしていましたが、当時のところ大成功であったと思われました。

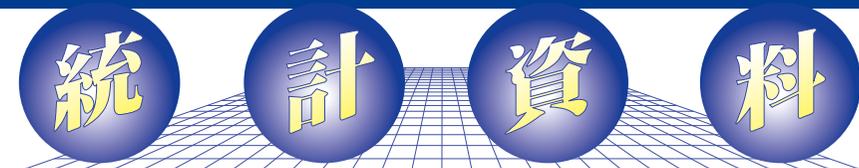
まず、世界192ヶ国中、189ヶ国が出席していた事、参加国が多いという事は、中国が世界の殆どどの国から支持をされている、つまりこの上海万博の成功により世界のリーダー国になった事を証明できたと思われれます。(世界には敵対関係に落ち込んでいる国、内戦状態にある国、それらをとりにくく利害関係、貧困国が一堂に会する事は非常に難しい事だと感じました。)

当初聞かされていた入場に関するトラブルも無く、非常に混雑はしているが皆整然と列に並び、マナーも守られている様に見えました。入場後の万博会場でもゴミは落ちておらず、トイレも清潔でありました(人が並んでいない時には常に掃除されていました)。

イメージとは怖いもので、自分の体験していない事は、勝手な想像によって形成されて、いつの間にかそれが正しい事の様に自分の頭の中に定着してしまっているのです。実際は礼儀正しく、笑顔で応え子供と年寄りには優しい(私たちにも)人々でした。

ローカル企業、上海万博の見学と貴重な体験をさせて頂きました。当時特に強く感じた事は、どの様な情報もまさに『百聞は一見にしかず』これにつきますと思います。

中国を始め、進歩発展のスピードはどんどん加速しているとおもいます。我々も国内のみに留まらず世界に置いて行かれない様正しい情報を掴み、日本の要である技術力はなおさらながら、中国の持つビジネス力を取り込んで勝負に勝っていかねばならないと感じました。



工作機械・FA流通動態調査 1

統計1

単位) 百万円

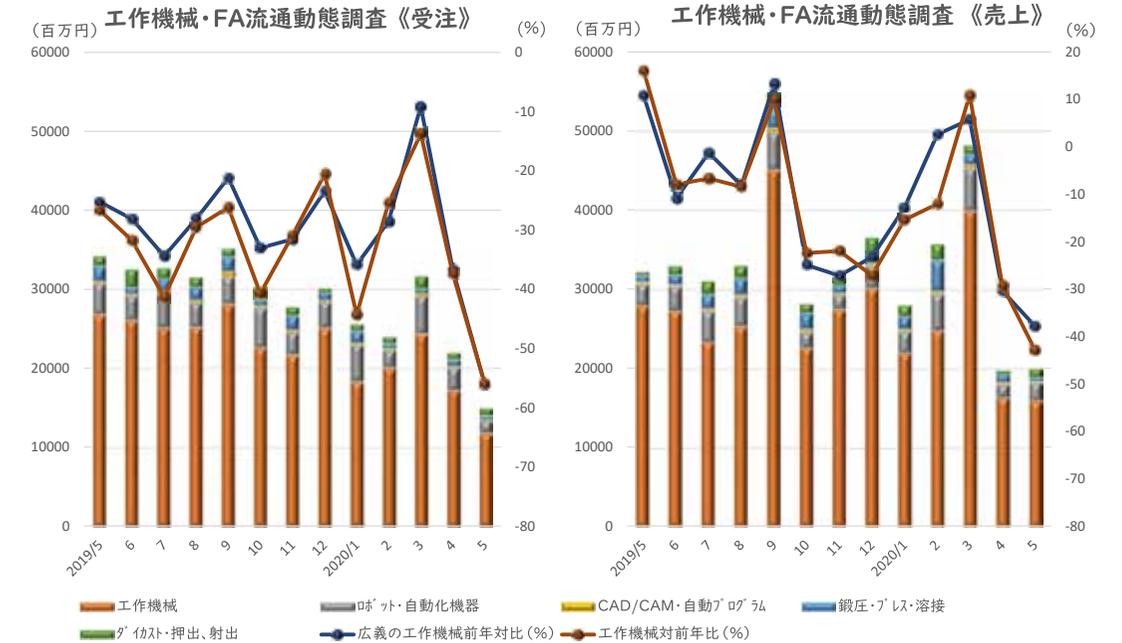
調査月次	受注				売上					
	2020/05	前月比	前年比	2020/01~2020/05	前年度比	2020/05	前月比	前年比	2020/01~2020/05	前年度比
37社合計										
広義の工作機械	11,774	-31.4%	-56.0%	91,536	-35.5%	15,934	-2.2%	-42.9%	118,790	-15.7%
ロボット・自動化機器	1,618	-44.3%	-59.0%	16,287	-2.2%	2,357	31.8%	-15.9%	17,007	-6.0%
CAD/CAM・自動プログラム	154	-11.6%	-33.1%	1,185	-7.0%	117	-20.4%	-54.5%	1,257	-16.0%
鍛圧・プレス・溶接	463	-44.2%	-76.4%	3,876	-62.0%	401	-57.6%	-43.7%	8,046	30.1%
ダイカスト・押出・射出	969	11.1%	-21.8%	5,222	-24.6%	1,192	109.5%	131.0%	6,502	3.7%
小計	14,978	-31.8%	-56.1%	118,106	-33.3%	20,001	1.3%	-37.8%	151,602	-12.4%
工作機械以外の扱い商品	13,708	-47.1%	-36.2%	102,982	-11.0%	14,091	-7.7%	-20.5%	107,924	-4.7%
合計	28,686	-40.1%	-48.4%	221,087	-24.5%	34,092	-2.6%	-31.7%	259,525	-9.3%
従業員数	1,606	0.1%	-1.5%							

統計2

単位) 百万円

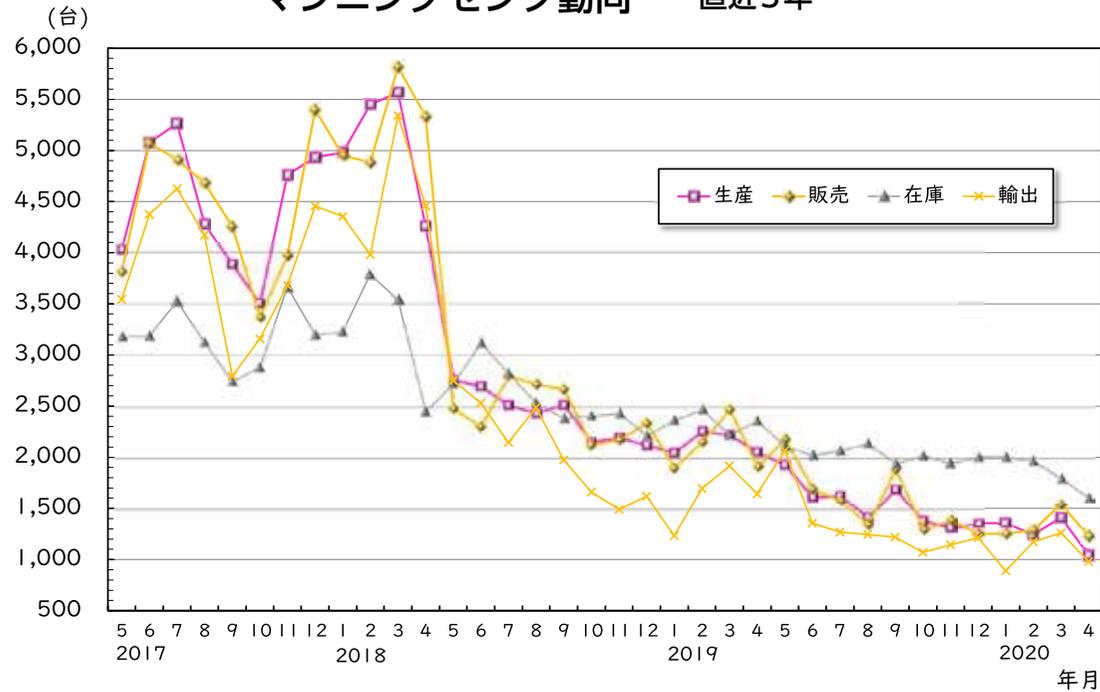
調査月次	受注				売上					
	2020/05	前月比	前年比	2020/01~2020/05	前年度比	2020/05	前月比	前年比	2020/01~2020/05	前年度比
28社合計										
直販	9,768	-36.6%	-56.2%	86,550	-33.0%	14,565	-14.6%	-39.9%	115,922	-13.6%
(内リース)	413	-62.9%	-65.0%	3,282	-30.8%	296	-93.8%	-73.9%	8,229	35.8%
卸	3,999	-17.7%	-54.2%	26,698	-37.5%	5,098	28.8%	-24.6%	33,274	-18.0%
輸入	738	-82.4%	-61.0%	9,713	9.9%	1,852	56.2%	60.0%	12,721	29.5%
輸出	7,436	-45.9%	-39.1%	51,680	-10.5%	3,746	-36.6%	-45.1%	46,907	0.4%
(内間接輸出)	893	54.8%	-22.3%	5,213	23.5%	606	-14.0%	-55.2%	5,565	-38.8%
従業員数	1,099	0.2%	-4.7%							

注: 会員80社中、統計1に関しては37社、統計2に関しては28社の回答を得て集計したものである。
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。
参考までに今月のデータ提供会社総数は40社である。

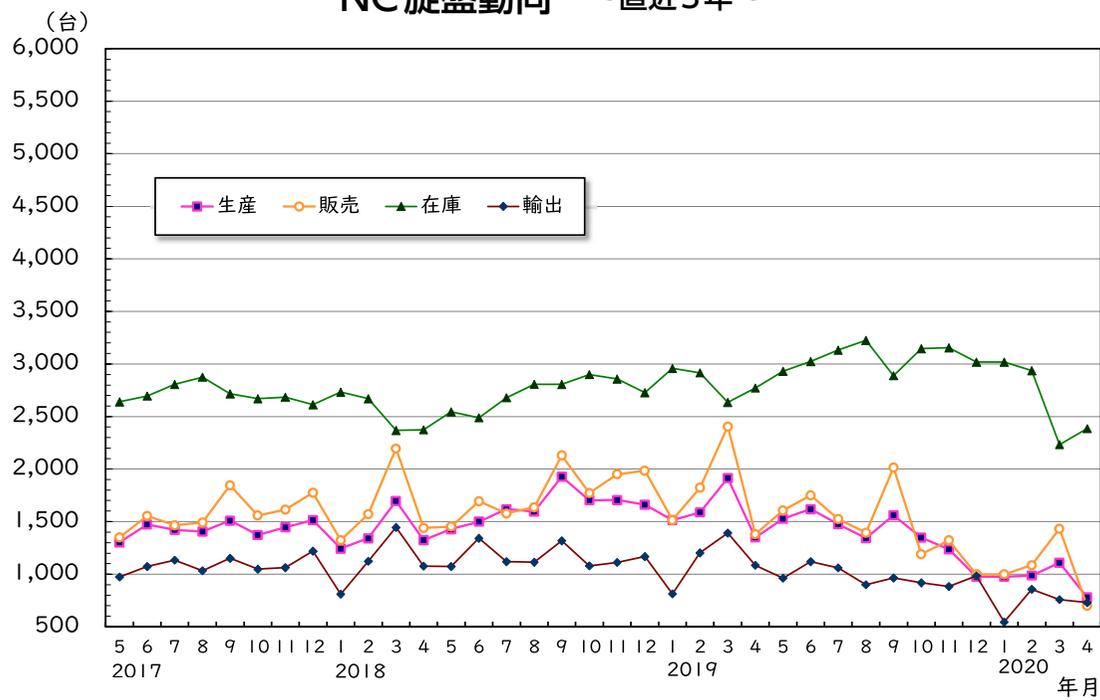


見てわかる 3年間の代表2機種種のトレンド

マシニングセンタ動向 ～直近3年～



NC旋盤動向 ～直近3年～



出所:経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

工作機械主要統計 I

需要業種	期間	2019年		2020年		前年 同期比	2020年 01～05月 累計	前年 同期比	2020年 05月	前月比	前年同月比
		10～12月 累計	01～03月 累計	10～12月 累計	01～05月 累計						
機械製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	15,087	4,008	5,736	88.9	685	65.7	75.5	出所 (一社)日本工作機械工業会		
	2. 金属製品	32,024	6,102	8,372	63.5	996	78.2	60.9			
	3. 一般機械	202,203	39,426	56,765	61.3	8,013	85.9	50.4			
	(うち金型)	20,987	3,663	5,781	61.7	778	58.1	42.2			
	4. 自動車	139,762	25,588	34,096	50.2	3,647	75.0	24.5			
	(うち自動車部品)	101,224	15,259	21,074	43.9	2,697	86.5	25.2			
	5. 電気機械	23,549	5,572	8,284	72.3	1,480	120.1	87.7			
	6. 精密機械	19,476	3,647	5,471	54.8	839	85.2	41.5			
	5～6. 電気・精密計	43,025	9,219	13,755	64.1	2,319	104.6	62.5			
	7. 航空機・造船・運送用機械	24,425	3,985	5,070	45.4	559	106.3	21.6			
	(うち航空機)	11,980	2,303	2,584	42.3	161	134.2	13.2			
3～7. 小計	409,415	78,218	109,686	56.8	14,538	85.9	39.2				
8. その他製造業	15,777	3,147	5,171	70.7	1,121	124.1	70.4				
9. 官公需・学校	2,510	396	487	84.4	65	250.0	85.5				
10. その他需要部門	12,051	2,543	3,691	74.9	522	83.4	47.2				
11. 商社・代理店	6,324	1,415	2,027	67.1	265	76.4	77.5				
1～11. 内需合計	493,188	95,829	135,170	59.1	18,192	86.0	42.6				
12. 外需	736,712	139,619	207,660	58.6	33,047	94.4	50.2				
1～12. 受注累計	1,229,900	295,448	342,830	58.8	51,239	91.3	47.2				
(内NC機)	1,206,231	230,942	336,005	58.8	50,058	91.0	46.8				
販売額	1,501,633	307,076	441,646	66.2	66,801	98.6	54.9				
(内NC機)	1,474,295	300,594	431,522	65.9	65,327	99.6	54.6				
受注残高	561,265	490,671	463,483	62.4	463,483	96.8	62.4				
(内NC機)	542,212	473,594	447,729	62.5	447,729	96.7	62.5				

お知らせ

【日工販ニュース表紙写真の公募について】

日工販事務局からのお知らせです。

日工販ニュースを楽しく、また手に取っていただきやすい機関誌にしたいという思いから、表紙にその季節折々の写真を掲載することとしています。そこで、以下要領により読者の皆様から表紙写真を公募しますので奮ってご応募ください。

【募集要領】

1. 対象写真

年5回の発刊月(5月、7月、11月、1月、2月)に合わせた写真(1枚以上)

※複数枚ご送付いただいた場合は、選定は事務局にて実施します。

※被写体は「風景」にこだわられません。季節を感じさせるものであれば何でも可。

2. 送付手段

以下要領により、電子データにてご送付をお願いします。

①日工販事務局宛てメールに添付：jmta@nikkohan.or.jp
メール件名：「《日工販ニュース》表紙写真(応募)」

②大容量ファイル配信ツール(「FireStorage」など)等の利用で送付

③USBやCD等による送付(媒体返却を希望する場合は「返却要」のメモを同封してください)

※上記いずれの場合も、以下事項を必ず添えて下さい。

- ・「撮影された方の会社名・所属部署・役職・氏名」
- ・「掲載希望発刊月」
- ・「撮影した場所や対象(風景の場合)、あるいは写真のタイトル」

3. 採否の連絡

採用された写真をご送付いただいた方には、当該写真が掲載された「日工販ニュース」および御礼としてQUOカードを送付させていただきます。

採用の連絡は発送を以って代えさせていただきますが、後々の掲載に備えてご送付いただいた写真は事務局でストックしていくため、適用月に掲載されない場合でも不採用の連絡はいたしませんので予めご了承ください。



～私の健康法～



(株)テツカ
沼津営業所 所長
阿部 浩

今年は新型コロナウイルスの影響により生活と仕事で全ての環境が一変してしまいました。そんな状況下で「私の健康法」の寄稿をとの依頼を受けましたので、本来ならば外出自粛に伴う在宅時の健康法等があれば良かったのですが、あいにく在宅に特化した対処はしていなかった為、以前から取り組んで来た私の健康法を掲載させて戴きます。

私事ですが年齢が40代になってから、ここ数年で痛風とぎっくり腰を患いました。

若いころの学生時代に野球部で鍛えた体力と健康という貯金はとっくの昔に使い果たし、身体の事を全く気にしない数十年の生活環境のツケが貯まり、何とも情けない生活習慣病から来る病気で痛みとの戦いに本当に不自由な経験をしました。

ほぼ同じタイミングで弊社社長の幹事の下、年1回のハーフマラソンの挑戦を始めました。

会社行事の意識だった為、仕方なく?何となく?エントリーしたハーフマラソンでしたが、参加すると決めただけには流石に途中リタイヤは格好が悪いので、何とか走れる様に練習しなければならない意識が芽生え、レベルはかなり低いですが初めて参加した大会は10ヶ月前から練習をスタート。最初は情けない話ですが500mしか走れなかった事を今でも覚えています。

今も何とか制限時間内に完走できるレベルではありますが、ハーフマラソンは練習なしではなかなか完走は出来ない距離です。

もしも1回だけの参加であれば、きっとまた何もしない元の生活に戻ってしまいましたが、結局、累計で過去5回ハーフマラソンを走った為に自然に練習する事が習慣付きました。

今はそのお蔭で早朝にジャージに着替え、運動靴を履いて自宅の周りをゆっくりですが1時間程度ウォーキングやジョギングをする様になり、今でも週に数回ですが継続しています。

健康に気を付ける方法は沢山ありますが、結果的に自分を縛ってしまった目標設定は個人的には効果抜群でした。習慣化できた今は出来るだけウォーキング、ジョギングは継続して行こうと思っています。

今後も恐らく新型コロナウイルスによる様々な変化に対応しなければなりません。

常に心と身体の健康に気を付けながら、日頃の生活と仕事に精進して行きたいと思っています。

私の読書評

『FACT FULNESS』 ハンス・ロスリング他共著(上杉周作、関美和 訳)



三菱UFJリース(株)
機械営業部
部長代理
三島 啓史



私が最初にこの書籍に興味を持ったのは、「科学者の正解率がチンパンジーよりも低いクイズ、、、」という本屋のPOP広告に惹かれ、まさに今、皆さんが思われた「自分はそんなことないよ!」という思いを私自身も持ち、手にしたのが最初でした。

この書籍の表紙には「10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣」とあります。著者はこれを「私たち人間は10の本能により動かされ、思い込みに左右されやすい生き物だから、世の中を誤って見るので勘違いしてしまう」とあり、この勘違いを認識してもらうために、世界情勢についての3択クイズ(一部4択)全13問で説明しています。私自身「それなりに正解できるかな?」と思っていましたがやはり殆ど不正解で、POP広告通り、チンパンジーの正解率には及びませんでした(笑)。ちなみにこの書籍では、無作為による正解率のことを「チンパンジーの正解率」と表現しています。

ここで、本の中にあるクイズを1題出題しますので、皆さんもお考え下さい。

「世界人口のうち、極度の貧困にある人(※)の割合は、過去20年でどう変わったでしょう?」

※「極度の貧困にある人」のイメージは、裸足で徒歩移動することがメインの人、のことを指します。

A:約2倍になった B:あまり変わっていない C:約半分になった (正解は最後にあります)

このクイズにおける解答迄の私の思考プロセスには、私が幼少のころに見たテレビ番組に“電気も無く殆ど裸に近い状態で生活している人”が繰り返し映し出されていたことを思い出した背景があり、結果正答できませんでした。

実は「極度の貧困にある人」の割合を時系列で表すと、1800年頃には全人口の約85%、1966年に約50%、1997年に約29%、2017年に約9%まで下がっているようです。

このように、現実の世界では貧困層の割合が激減しているにも関わらず、自分の中に一度刷り込まれた思い込み(イメージ)は、なかなかアップデートされないのだということを実感しました。

これはまさに先程のクイズで、私がデータに基づかず思い込みにより誤答したことがそのまま当てはまります。

本書では「思い込みの判断による危険性と、事実(データ)を基に判断することの大切さ」について書かれており、事実に基づいて判断することを志すことにより、身の回りの出来事を正確に捉えることができ、その結果正しい行動ができるのだと考えさせられました。

本紙を書いている今、コロナウイルスにより世界中で多くの人々が感染し、亡くなられている方が多くなっています。このコロナウイルスは未知なるウイルスであるが故に、漠然と「怖いウイルス」と思い込む(イメージ)のではなく、「どういったウイルスなのか?感染率や死亡率は?」等、まさに「事実(データ)を捉えた上で判断しましょう!」ということを全世界が実践して、感染防止策や様々な経済対策、またワクチン開発による予防策を講じているのだと思います。

私たちが身の回りについて事実(データ等)を正確に捉えて、正しい行動ができるように判断してまいりましょう!
正解は「C:約半分になった。」です(正解率は10%未満)。

私の好きなお店



(株)三機商会
営業部
坪山 達也

今回私がご紹介させていただくお店は、茨城県筑西市にある割烹、食事処『まるい』というお店です。

20年近く前に、お店の近隣にあるお客様の社長さんに連れて行ってもらい、今でも月1~2度くらいのペースで、お昼を食べに行ったり、たまには夜も行ったりします。

昼は主に定食で新鮮な魚介類を使った海鮮丼や刺身定食をはじめ、揚げ物・煮物・ラーメン等々多彩なメニューです。

夜はその他オリジナルメニューも多くどれもいけます!!

割烹とはいっても、気取らずリーズナブルな価格で、気さくなオーナー夫妻(二代目)と数名のスタッフで営むゆっくりとくつろぐことのできるお店です。



店名: 割烹まるい
住所: 茨城県筑西市関本 50
Tel: 0296-37-3286
交通手段: 県道23号と15号交差点近く
関東常総線大田郷より車で10分
営業時間: 11:00~14:00 17:00~21:30
日曜営業

海外だより

PT. MC Technos Indonesia (三菱商事テクノス(株))

Director 井田 圭紀

私の駐在しているインドネシアは、人口約2.7億人を超え、中国、インド、アメリカに次ぐ世界第4位の国です。日本経済の先行きが不透明な中、人口の多さを背景に更なる経済成長が見込めるポテンシャルを秘めており、有望市場としてASEANでの存在感が日々高まっております。ここ数年のGDP成長率は約5%を推移、人口ボーナスは2020年代中盤までは続くと言われており、人口の増加や中間所得層の拡大とともに更なる経済成長を遂げるとの見方が強いです。進出している日系企業数は1,489社(2020年1月時点)に上り、業界は、製造業を中心に金融、ITなど多岐にわたります。中でも我々の対面業界である製造業は、自動車関連を中心に871社が進出しております。インドネシアの消費者は日本ブランドに対して、値段は高いが「品質」「耐久性」が非常に優れているイメージを抱いており、四輪、二輪市場では日本ブランドが市場を凌駕しております。



バリ島にて

生活環境としては、約2万人の在留邦人に支えられ、住宅や飲食店、ショッピングモールなど我々日本人にとって生活のしやすい環境が整っておりますが、その一方で世界的にも有名な交通渋滞が大問題で、特に通勤ラッシュの時間帯は交通渋滞が頻発しており、悩ましい問題となっております。KIIC工業団地からジャカルタ市内の自宅まで約60kmの道のりを7時間かけて帰宅した経験もありますが(渋滞が無ければ約1時間半で帰宅可能)、昨年、ジャカルタ市内で地下鉄が開通し、各高速道路の建設が完了したことで交通渋滞は緩和傾向にあり、今後もインフラ整備が進むことで更なる改善を期待したいと思っております。



ソフトボールチームのメンバーと後列左から4番目

私は、2018年5月に着任して以降、現地スタッフとともに自動車業界を中心に建設機械業界や金型業界のお客様に対して日々営業活動を行っており、休日は家族とのんびり過ごしたり、取引先とのゴルフや日本人会のソフトボールに参加することで日々充実した生活を送ることができております。また、長期連休のタイミングには、バリ島など近隣の島に旅行に出掛けることもあり、このように公私ともに充実した生活を送ることができているのも、基盤を築いてくださった諸先輩方や周囲の方々のサポートがあつたことと感謝の意を忘れず、引き続き充実した毎日を送りたいと思っております。

昨今では、新型コロナウイルスの影響で世界的に経済が低迷しており、インドネシア市場も大変厳しい状況下に置かれておりますが、目まぐるしい変化が予想される環境の中で新たなビジネスチャンスを掴む好機と前向きに捉え、チャレンジングな姿勢で業務に邁進していきたいと考えております。



ナショナルスタッフに誕生日を祝ってもらった際の写真



ゴルフ人生初の100切りを達成した日の写真

日工販SE合格者 第228回発表

2020年6月の合格者は8名です。

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
20-28-3592	佐藤商事(株)	松田 裕樹	20-29-3596	(株)大和商会	稲垣 秀一
20-29-3593	(株)テヅカ	山本 健太	20-29-3597	日本産商(株)	祖川 淳
20-29-3594	三井物産マシントック(株)	岩尾 貴幸	20-29-3598	西川産業(株)	佐藤 和哉
20-29-3595	ワシノ商事(株)	上田 貴広	20-29-3599	昭和リース(株)	宮下 卓也

編集後記

- 今回3回目の寄稿となるのですが、前々回は『東京オリンピック開催』、前回は『令和は大きな災害、事故、事件が起きない時代になることを願っております。』と寄稿させていただいたのですが、今回まさか新型コロナウイルスが脅威を振りい世界中で社会的、政治的および経済的に甚大な影響を及ぼす状況下での寄稿になるとは想像もしておりませんでした。

外出自粛、緊急事態宣言、在宅勤務等未曾有の事態を経験することとなりました。今後、第二波、第三波に備えるためには早急な治療薬やワクチンの開発が必要ですが、一人ひとりの感染対策も重要であり、日常生活における各場面別生活様式や働き方の新しいスタイルを考えることはこれからも必要不可欠なことでしょう。

一刻も早い新型コロナの終息を願い、平和な日常生活に戻ることを祈るばかりです。(君村)

- 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され約1ヶ月が経過、そして県外移動の自粛解除となったのが本日6月19日です。

在宅勤務期間中は、家からオフィスまで往復約3時間の通勤時間が無くなったことを含め、極度の運動不足、家族との三度の食事、テレワークしながらのお菓子類、そして禁煙等、様々な理由により、すっかりコロナ太りとなってしまいました。

ようやく本来の営業活動ができるようになりましたが、コロナウイルスが消滅した訳でも、特効薬が開発された訳でもありません。今後はコロナと共存しながら、積極的な経済活動をしていかなくはなりません。

間もなく海の日(7月23日)を迎えますが、今夏楽しみにしていたオリンピックも延期され、海水浴場は海開きもなく、大空を舞う花火大会もありませんが、変化を受け入れ、この夏を出来る限り前向きに楽しんで、新たな時代を生き抜いていくことが問われているように思います。

テレワークを含め、この大変な局面を皆が知恵を出し合い、是非乗り切っていきたいと思います。(福島)

日工販ニュース July 2020

2020年8月1日発行

発行 日本工作機械販売協会
〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル3階
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879

発行責任者 専務理事 中島和彦

編集 日工販調査広報委員会
委員長 永田俊哉 (丸紅テクノシステム株)
委員 君村義人 (伊藤忠マシンテクノス株)
中村龍二 (株トミタ)
稲垣誠人 (三菱商事テクノス株)
森田一志 (株牧野フライス製作所)
福島 透 (三井住友ファイナンス&リース株)